

【研究シーズテーマ】

歴史的建造物の耐震性調査・分析

 環境学部 建築デザイン学科 准教授 **光井 周平**

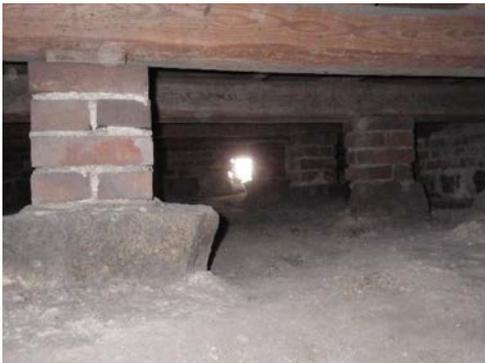

工学

Keyword
歴史的建造物／耐震化／実測調査／耐震性評価


【研究シーズの概要】

県内各地にはその地域の歴史や文化を物語る歴史的な建造物が数多く残されています。最近では昭和期に建てられた建築物も築年数が100年に迫りつつあり、歴史的価値が高まると同時に経年劣化や耐震性の不足などが課題となっています。明治・大正・昭和期に建築された近代木造建築を主な対象に、実際に現地で建物の実測調査や劣化度の確認、耐震性の分析等を行って、貴重な遺産を次世代へと引き継いでいくためのお手伝いをします。

明治期の木造洋館の床下調査



昭和初期の木造校舎の小屋裏調査



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 呉・江田島地域を中心に近代木造建築の実測調査の実績があります。
- 近代木造建築以外に木造住宅の耐震診断等も実施可能です。
- 耐震・構造面の評価のほかに利活用に向けた事例紹介や助言も可能です。

【産業界での展開・用途】

- 既存木造建築物の耐震性能評価による利活用の促進
- 実測調査・耐震診断等への各種機器類の開発や適用性の検証
- 歴史的建造物の維持・活用のための技術開発

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp